

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## 〈目 次〉

- ・ 理事会報告
  - (1) 総会議案について
  - (2) 日本カリキュラム学会事務局研究奨励賞（学会賞）について
  - (3) 次期大会開催校について
  - (4) 各種委員会報告について
  - (5) その他
- ・ 総会報告
  - (1) 第 19 回大会年度(2008 年度)決算報告
  - (2) 第 20 回大会年度(2009 年度)活動方針
  - (3) 第 21 回(2010 年)大会開催校について
- ・ 第 20 回大会報告
- ・ 事務局からのお知らせ

## — 〈 理事会 報告 〉 —

[2009 年 7 月 10 日(金) 午後 5 時～7 時 (於) 千葉大学教育学部 1 号館大会議室]

定例の理事会が 7 月 10 日(金) 午後 5 時から 7 時まで、千葉大学教育学部 1 号館大会議室で開催されました。理事 20 名、オブザーバーとして次回大会準備委員会の井上充正会員、倉本哲男会員（佐賀大学）、および事務局 3 名が参加しました。代表理事の挨拶、大会開催校の天笠理事の挨拶、千葉大学教育学部長の挨拶に続き、下記の議題を審議・決定しました。

### (1) 総会議案について

2008 年度活動報告・決算（案）および 2009 年度活動方針・予算（案）について、すべて原案どおりに承認された。

- ・ 現況概要：会員総数 887 名（一般 738 名、学生 139 名、団体 10 件。ただし、連絡先不明・会費未納による会員資格停止者 135 名を含む）、新入会員 37 名。会費納入率 70.0%（昨年度 71.3%）。
- ・ 学会誌『カリキュラム研究』第 18 号発行。会報「ニューズレター」第 47 号、48 号、49 号発行。会報は HP にも掲載されている。

## (2) 日本カリキュラム学会研究奨励賞（学会賞）について

臼井嘉一研究奨励賞審査委員長より、本所恵会員（京都大学大学院）が「スウェーデンの総合制高等学校における教育課程改革—履修方式の転換に焦点をあてて—」（『カリキュラム研究』第17号所収論文）により、学会研究奨励賞に選ばれた旨、報告がなされた。

## (3) 次期大会開催校について

次年度の第21回大会は、西日本の当番であり、佐賀大学で開催するとの原案が承認された。大会会期は2010年7月2日(金)から4日(日)まで。詳細については、11月の理事会で決定する予定である。

## (4) 各種委員会等報告について

- ・ 紀要編集委員会（臼井嘉一委員長）
  - ① 『カリキュラム研究』第18号が刊行された。
  - ② 紀要の電子公開についての検討過程が報告され、次回理事会の議題とすることとした。
- ・ 日本カリキュラム学会研究奨励賞審査委員会（臼井嘉一委員長）

選考手続きなどの課題が指摘され、次回理事会の議題とすることとした。
- ・ 国際交流委員長（浅沼茂委員長）
  - ① 2009年9月開催予定の国際カリキュラム学会への参加者は0名となったことが報告された。
  - ② 『カリキュラム研究』第19号の「海外カリキュラム研究情報」については、第20回大会の国際シンポジウムの討議内容を中心に、浅沼委員長が執筆することに決定した。
- ・ 広報委員会（村川雅弘委員長）

学会HPの管理等について提案がなされ、次回理事会で議題とすることとした。
- ・ 研究委員会（豊田ひさき委員長）

第20回大会において、3つの課題研究を開催する旨が報告された。
- ・ 20周年記念委員会（田中統治委員長）

第20回大会において、国際シンポジウム「日中韓のカリキュラム研究の成果と課題—日本カリキュラム学会創設20周年を記念して—」を開催する旨が報告された。

## (5) その他

- ・ 寄贈図書一覧（2009年3月6日～2009年9月30日 事務局到着分）

書名	著者	出版社	刊行日
カリキュラム評価入門	田中統治・根津朋実編著	勁草書房	2009年5月
学校知識 カリキュラムの社会学	ジェフ・ウィッティ	明石書店	2009年3月
揺れる学力マップ	佐藤学他編著	明石書店	2009年4月
新しい時代の授業づくり	池野正晴	東洋館出版	2009年5月
目標準拠評価論の研究—学校教育における理論と実践—	岩崎保之	ウエストン出版部	2009年8月

- ・小泉祥一理事より、課題研究の継続性について指摘があり、種々審議の結果、新委員会は前委員会の課題をふまえつつ総合的に判断すること、また任期内での計画を立てるべきことが確認された。

## —— 〈 総会報告 〉 ——

2009年7月12日(日)、12時10分から12時50分まで、神田外語大学4-101教室において、天笠茂理事(千葉大学)、井上正充会員(佐賀大学)を議長団として、総会が開催された。7月10日の理事会で承認された議案が、すべて承認された。

### (1) 第19回大会年度(2008年度)決算報告(2008年4月1日～2009年3月31日)

#### ○ 収入の部

項目	予算額(円)	決算額(円)
学会年会費	3,700,000	2,900,000
入会金	80,000	74,000
雑収入	50,000	146,075
寄付	0	20,000
前年度繰越金	4,044,916	4,044,916
<b>合計</b>	<b>7,874,916</b>	<b>7,184,991</b>

#### ○ 支出の部

項目	予算額(円)	決算額(円)
第19回大会経費	800,000	800,000
第20回大会準備経費	500,000	0
第18号紀要刊行費	600,000	448,000
学会研究奨励賞	0	0
印刷費(会報・封筒等)	200,000	107,526
通信費	500,000	675,365
会合費(含む交通費)	650,000	949,907
事務局人件費	800,000	675,119
消耗品費(含む雑費)	100,000	76,468
財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
理事選挙・代表理事選挙実施費	150,000	323,965
各種委員会経費		
編集委員会	300,000	300,330
広報委員会	50,000	0

国際交流委員会	100,000	35,850
研究委員会	50,000	0
学会研究奨励賞審査委員会	150,000	150,000
(小計)	650,000	486,180
予備費	300,000	76,240
次年度繰越金	2,574,916	2,516,221
<b>合 計</b>	<b>7,874,916</b>	<b>7,184,991</b>

## (2) 第20回大会年度(2009年度)活動方針

### 1) 一般方針

- i) 年次大会の実施
- ii) 第21回大会の準備
- iii) 学会誌『カリキュラム研究』第19号発行
- iv) 学会研究奨励賞
- v) 会報、その他の広報活動
- vi) 会員勧誘、会費納入促進活動

### 2) 第20回大会年度予算(2009年4月1日～2010年3月31日)

#### ○ 収入の部

項 目	予算額(円)
学会年会費	3,700,000
入会金	80,000
雑収入	50,000
寄付	0
前年度繰越金	2,516,221
<b>合 計</b>	<b>6,346,221</b>

#### ○ 支出の部

項 目	予算額(円)
第20回大会経費	800,000
20周年記念事業経費	1,100,000
第19号紀要刊行費	600,000
学会研究奨励賞	30,000
印刷費(会報・封筒等)	200,000
通信費	500,000

会合費（含む交通費）	650,000
事務局人件費	800,000
消耗品費（含む雑費）	100,000
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000
理事選挙・代表理事選挙実施費	0
各種委員会経費	
編集委員会	300,000
広報委員会	50,000
国際交流委員会	100,000
研究委員会	50,000
学会奨励賞審査委員会	150,000
（小計）	650,000
予備費	300,000
次年度繰越金	566,221
<b>合 計</b>	<b>6,346,221</b>

### （３）第 21 回大会（2010 年）開催校について

佐賀大学において開催されることが、承認された。

## —— 〈 第 20 回大会報告 〉 ——

新型インフルエンザの流行が心配されるなか、日本カリキュラム学会第 20 回大会を 7 月 10 日から 12 日にかけて開催いたしました。今回の大会は、千葉大学教育学部の耐震改修のため、神田外語大学に多大なるご理解と協力をいただきました。千葉大学において理事会、神田外語大学において大会を開き、約 300 名の大会参加者、51 件の自由研究発表と多くの方々の参加と発表をいただきました。また、懇親会にも約 150 名の方の参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。大会に参加されました方々に感謝申し上げます。

課題研究は、Ⅰ「学習指導要領の基準性を問い直す（3）－移行措置から本格実施への主体性－」、Ⅱ「カリキュラム研究におけるヒドゥン・カリキュラムの位相（3）－『生きる力』の時代におけるヒドゥン・カリキュラムをどう捉えるべきか－」、Ⅲ「『活用』のあり方とカリキュラム研究」のテーマで実施しました。Ⅰ及びⅡについては、一昨年度から継続されたテーマであり、Ⅲは新たに設定したものであります。

公開シンポジウムは「小中連携・一貫とカリキュラム開発」をテーマに 300 名を越える方々の参加をいただき、一貫カリキュラムの意義と課題について討論いたしました。

また、学会創設 20 周年を記念して公開国際シンポジウム「日中韓のカリキュラム研究の成果と課題－日本カリキュラム学会創設 20 周年を記念して－」を開催し、それぞれの立場から提案をい

ただき、これからの研究交流の在り方が問いかけられました。

無事大会を終えることができたのも、大会に参加された皆様の理解と協力によるものであるとともに、3日間を通して、延べにして約80名の千葉カリキュラム学会などの関係者のご尽力によるところが大きかったと思っております。地元に着した大会を心掛けてみましたが、いかがでありましたでしょうか。

改めて、大会運営にあたりご不便をおかけしたことにお詫び申し上げるとともに、大会に参加された方々に、また、運営に関わっていただいた方々に、そして、会員すべての方々に心より御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(千葉大学 天笠 茂)

## —— 〈 事務局からのお知らせ 〉 ——

### (1) 平成21年度分 会費納入のお願い

大会も無事終了し、年度の半ばとなりました。今年度分の年会費の納入をお願いします。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりますと同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

本年度までの会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。前号で同封しました払込票をご利用になり、できるだけ早く納入してください。払い込み票は、年2回の会報に同封しています。なお、事務処理上、納入時期とラベル記載情報との間に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何卒ご容赦ください。

また単年度に複数回振り込まれた場合、事務局では次年度会費として繰り越しております。会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ささいな点でも結構ですので、ご遠慮無く事務局までお問い合わせください。

(年会費：一般 6,000円、学生 3,000円、団体 10,000円)

### (2) 住所変更等の届出について

連絡先住所、ご所属等が変更になった場合、事務局までお知らせ願います。

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL&FAX : 022-795-3755

振替口座番号 : 00990-0-69090

E-mail: jscs@nifty.com

学会 URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>